



依田窪南部中学校の菖蒲園

地域自治センターだより

平成23年/2011
7.16 | No.26 |



上田市消防団第6回ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会



地域を守る



大会結果

▽小型ポンプ操法の部(全34チーム)

- 第12位 武石西部分団A
- 第18位 武石東部分団A
- 第20位 武石東部分団B
- 第25位 武石西部分団B

▽ラッパ吹奏団体の部(全29チーム)

- 第12位 武石西部分団
- 第14位 武石東部分団

▽ラッパ吹奏個人の部(全58名)

- 第12位 木下嘉章団員(東部分団)
- 第13位 山口直人団員(東部分団)
- 第17位 柿嶋洋一団員(西部分団)
- 第28位 斎藤浩司団員(西部分団)

上田市消防団第6回ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会が6月26日に上堀グラウンドで開催されました。地域を災害から守るため、訓練や予防・広報に日々励んでいる消防団。日ごろの訓練成果を披露し、消防技術を競うべく、大会に向け毎日練習してきました。第八方面隊からは、小型ポンプ操法に4チーム、ラッパ吹奏団体の部に2チーム、個人の部に4名が出場しました。選手は、競技が始まると真剣な顔つきになり、団員やOB、家族らに見守られるなか、堂々と練習の成果を披露していました。

地域の重点課題を考える

「雲溪荘の現状と課題」協議内容

5月と6月の2回にわたり、経営が厳しい雲溪荘について検討する機会を持ちました。第1回は市から指定管理を受ける武石開発公社の立場から、第2回は所有している市の立場から、それぞれ現状と課題を提起いただき、協議を行いました。

1、これまでの経過

雲溪荘は、武石地域に温泉施設がほしいという住民の願いを受けて昭和52

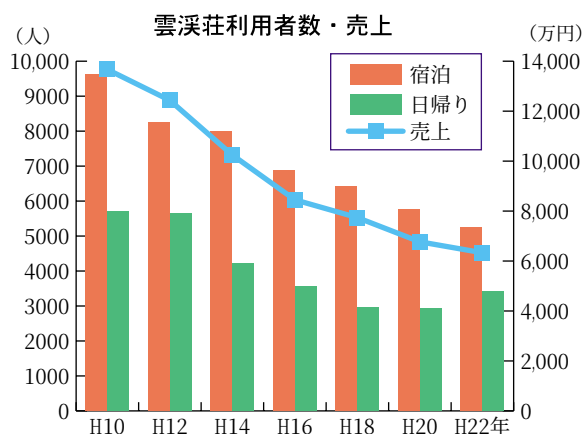


年、村営温泉施設としてオープン、その年に管理を開発公社に委託しました。当初は地域住民の保養中心の経営でしたが、施設の増築や改修を進め、広域的に誘客をした結果、関東を中心に県外から人が訪れるようになり、平成6年には利用者が16,046人、売上が15,700万円にのぼる旅館業に成長しました。しかし、時代の変遷や観光ニーズの変化、施設の老朽化もあり、徐々に利用者が減少し、平成22年度の利用者総数は8,677人、売上も平成6年の40%に減少しました。合併後の平成19年度からは、指定管理者制度を導入して独立採算を目指し、経営改善に向けて従業員教育や料理の改善に努めましたが目立った効果は現れず、平成21年から22年には経営コンサルタントの指導を受けて根本的な経営改善に取組み、現在に至っています。

2、現状と課題

昨年度の売り上げは6,332万円、経費が9,176万円、赤字額は年間

2,800万円を超えます。利用者を地域別にみると、日帰りは上田市民が84%、内武石地域が55%、宿泊は上田市民が37%、内武石地域が22%、県内9%、県外55%という状況です。今後、武石地域の温泉利用補助券の廃止に伴う利用者減少も懸念されます。施設については、老朽化がすすみ、浴室給湯配管や客室暖房工事、畳交換、マイクロバス買換えなど維持経費2,400万円が必要です。さらに、耐震工事、エレベーター、露天風呂など利用者ニーズにこたえる新たな投資を行うとすれば2億円以上かかる見込です。



3、今後に向けて

このような現状を踏まえ、地域協議会では「所期の目的を達成したので廃止すべき」「まだ再生する手立てはあるはず。無くさないようにするべき」「民間の経営者を探したらどうか」「低価格で福祉的利用の施設にする」などの意見が出されました。地域福祉の向上に少なからず貢献してきた雲溪荘は今、岐路に立たされています。

市が多額の税金を投入して旅館業を経営することは是非も含めて、雲溪荘の今後のあり方を武石地域の市民一人ひとりが考えなければいけない時期に来ていると思います。

地域協議会では、今後も皆さんの意見を広く集約できるよう、協議を継続していく予定です。

【その他報告事項】

【平成23年度】第2回 5月25日

●自治基本条例について

●武石地域の森林税の活用について

【平成23年度】第3回 6月23日

●丸子小牧線の復旧見込み等について
4月に起きた落石により通行止めとなっている小牧線の落石対策と復旧時期について、丸子地域自治センター建設課長から説明がありました。

第16回 ともしびの里

ソフトバレーフェスティバル

5月29日、武石体育館と武石小学校体育館を会場に第16回ともしびの里ソフトバレーフェスティバルが開催されました。

毎年この大会を楽しみに参加する常連チームから、初参加のチーム、武石地域内から参加した3チームを含め、県内外から集まった30チームが地域を越え、スポーツを通じて楽しく交流ができました。



大会結果

- 1位 ともしびの部
常盤クラブ (大町市)
- 2位 サクラメント (須坂市)
- 3位 アートフルス (松本市)
- 廿王様 (松本市)
- 1位 トリムの部
パートナー (茅野市)
- 2位 ラブリー (岡谷市)
- 3位 スーパースター (小諸市)
- ぶせきA (上田市)

第17回 分館親善

マレットゴルフ大会

6月19日、武石森林公園マレットゴルフ場で、第17回分館親善マレットゴルフ大会が開催され、32組128名が参加しました。

当日は、お天気にも恵まれ、絶好のコンディションの中、日ごろの練習の成果を発揮し、梅雨の合間のひと時、分館相互の親睦をはかりながら、楽しく競技ができました。



大会結果

- 団体の部
- 1位 余里A
- 2位 ヒケA
- 3位 藪台A
- 男子の部
- 1位 黒木 享さん
- 2位 樋沢 栄さん
- 3位 竹内加一さん
- 女子の部
- 1位 渡辺恒子さん
- 2位 梶井房子さん
- 3位 北沢幸子さん
- ホールインワン賞
- 近藤武次郎さん
- 橋詰 忠之さん
- 豊田 忠義さん



武石地域全域公園化構想の実践から

～「武石公園」の大文字復活～

かつてあった「武石公園」の大文字を復活させる事業が、6月25日、七ヶ自治会を中心に始まりました。新しい文字は1文字10数m、ドウダンツツジの植栽で書かれ、遠くから見えるよう武石バイパス側の急斜面が選ばれました。今年の植栽は武石公園の「武」。急斜面に張ったテープに沿って、運び込んだ100本の苗を植えていきます。足場の悪い重労働ですが参加者は声を掛け合いながら汗だくで作業していました。自治会長の野村義人さんは「自治会と公園関係団体が連携し、念願の大文字の復活に取り組むことができた。数年がかりの事業だが、みんなで協力して文字を完成させたい。秋には赤く紅葉した文字が見られるのを楽しみにしている」と話してくれました。



地域の話題や写真を募集しています！

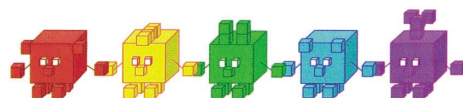
武石地域の出来事や活動、武石の風景写真などを募集し、紹介していきます。

問 地域振興課 TEL 85・2824

武石のいいところ み～つけた♪

武石保育園編

～さつまいもの苗植え～



6月9日、「特別養護老人ホームともしび」東側の畑で保育園児のさつまいもの苗植えが行われました。地域の子どもたちに野菜の育て方を知らせたいという願いから、生活改善グループの皆さんが先生になって行われているこの行事も、今年で22回目になりました。園児は先生から苗の植え方を教えていただき、一人ずつもらった苗を一生懸命植えていました。植えた後はワラのお布団をかけ、川から何回も水を汲み、大きくなるようにとお水をくれていました。最後に先生から「カラスさんが来たら食べないでね、シカさんが来たら食べないでね、と言ってください。おいしいさつまいもになるように、お水くれを忘れずにしてください」と、お約束がありました。保育園では、年長児を中心にお水くれをしています。10月には、大きなおいしいさつまいもが収穫できるといいですね。



川が好き 川にうつった 空も好き

(河川愛護月間標語)

毎年7月は「河川愛護月間」です。上小漁業協同組合では、河川愛護活動として毎年4月と10月に一斉に河川の清掃活動を行っています。このほかに、武石支部の皆さんは、アユ漁の解禁を控え、6月11日に沖の飛魚周辺で草刈りを行いました。午後4時からの作業には支部の皆さん十数人が参加し、刈払機を使って慎重に進め、終了後は全員で水天神様の前で漁の安全と豊漁を祈願しました。組合では、こうした活動とともに武石川をはじめ、毎年管内の各河川にヤマメやイwanaを放流し、自然環境に恵まれた河川で多くの方に釣りを楽しんでいただけるよう努めています。



武石小学校PTAバザーで募金活動

6月18日、武石小学校PTAバザーが開催されました。それにあわせて、この度の大震災に協力しようと、募金活動も行われ、30,114円の善意が集まり、児童会長の佐藤智妃さんから、伊藤センター長へ手渡されました。この募金は、日本赤十字社などを通じて、復興のために役立てていただきます。ご協力ありがとうございました。



美ヶ原高原笹刈り

5月21日、物見石レンゲツツジ群生地で笹刈りが行われました。レンゲツツジが咲き誇る群生地復活を願い、5年前から春と秋に整備を行ってきました。今回は、ボランティアや市職員など約90人が参加し、レンゲツツジ株周りの笹を刈り取りました。秋は10月15日に予定しておりますので、地域の皆様のご協力をお願いします。

